



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月14日

上場会社名 株式会社エーアイティー

上場取引所

東

コード番号 9381

URL <https://www.ait-jp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢倉 英一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部・情報システム部・(氏名) 内田 利明 (TEL) 06 (6260) 3450
経理財務部担当兼経理財務部長

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	44,150	5.3	3,289	△1.9	3,720	2.8	2,521	1.4
2025年2月期第3四半期	41,918	6.1	3,354	△5.9	3,619	△3.2	2,487	0.4

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 2,467百万円(△5.1%) 2025年2月期第3四半期 2,600百万円(△13.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	107.31	—
2025年2月期第3四半期	105.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第3四半期	26,782	19,925	72.5
2025年2月期	25,538	19,478	74.6

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 19,430百万円 2025年2月期 19,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2026年2月期	—	45.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	—	—	55.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2026年1月14日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	7.8	4,300	5.6	4,670	3.0	3,170	4.0	134.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年2月期3Q	23,913,600株	2025年2月期	23,913,600株
2026年2月期3Q	420,008株	2025年2月期	420,008株
2026年2月期3Q	23,493,592株	2025年2月期3Q	23,493,592株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や好調なインバウンド需要に支えられ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続により消費マインドの下振れが懸念されるほか、米国の通商政策の影響や地政学的リスクの長期化などにより、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは、主力である国際貨物輸送の取扱増加を目指し、精力的に営業活動を継続するとともに、通関・配送や海外倉庫でのアソート業務など輸出入関連の付帯業務の受注拡大にも注力し、新規顧客の獲得と既存顧客との取引深化に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、アパレル関連の夏物商材の荷動きが比較的堅調であったことや、それに伴い通関受注件数が伸長したことに加え、期間前半には海上貨物輸送の運賃水準が前年同時期に比べて高く推移したことにより、営業収益は増加しました。

さらに、一部の顧客との間で、海上運賃や値上がりしている日本国内の陸送費用などの価格改定交渉を行い、価格転嫁を進めてまいりました。その結果、前年度の夏以降に大きく低下していた売上総利益率は改善傾向にありましたが、累計期間では前年同期を下回る水準に留まったため、売上総利益はわずかに減少しました。

また、販売費及び一般管理費については、給与のベースアップなどに伴い人件費が増加しました。一方で、その他の費用の抑制などに取り組み、可能な限り利益の確保に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は44,150百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は3,289百万円（前年同期比1.9%減）となりました。また、経常利益は、前年同期と比較して為替差益や受取利息等が増加したことで3,720百万円（前年同期比2.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,521百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

① 日本

昨年夏頃から海上貨物輸送の運賃が上昇した影響により、当第3四半期連結累計期間は、前年同期と比較して運賃水準が高い状況下で始まりました。中間期の終盤以降は、前年同時期との価格差は縮小しましたが、このような状況下、当社グループでは収益拡大を目指し、新規顧客の獲得に加え、既存顧客との取引の深耕にも注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における海上輸送の取扱コンテナ本数は、雑貨関連の物量減少の影響を受けたものの、アパレル関連商材の取扱いが比較的堅調に推移したことで、輸入は184,012TEU（前年同期比3.4%増）、輸出入合計では195,897TEU（前年同期比2.2%増）と小幅ながら増加しました。

また、通関受注件数については、アパレル関連を中心に比較的堅調に推移し、さらに営業強化の効果も加わったことで、116,835件（前年同期比9.0%増）と前年同期を大きく上回る結果となりました。

以上のことから、日本における営業収益は、海上輸送における運賃の価格差の影響に加え、通関受注の大幅増、さらに海上輸送の取扱コンテナ本数の小幅増が寄与し、37,668百万円（前年同期比5.5%増）となりました。また、セグメント利益は、累計期間の売上総利益率が前年同期を下回る水準であったことから、2,642百万円（前年同期比0.5%増）とほぼ横ばいになりました。

② 中国

日本向け貨物を安定的に取り扱うことで中国国内での輸送関連の収益が確保でき、その結果、営業収益は5,168百万円（前年同期比2.3%増）となり、セグメント利益は、日本同様に売上総利益率が前年同期を下回る水準であったことから、489百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

③ その他

ミャンマー子会社では、輸送関連の収益が安定的に確保でき、また、台湾子会社では、日本からの輸入貨物の取り扱いが減少したものの三国間輸送の受注が堅調に推移した結果、営業収益は1,313百万円（前年同期比13.7%増）となりました。一方、セグメント利益は、主にミャンマー子会社における事業活動で費用が増加した結果、158百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

（注）TEU（Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算）とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,244百万円増加し26,782百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ801百万円増加し21,154百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,365百万円、立替金が316百万円増加した一方で、現金及び預金が919百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ443百万円増加し5,627百万円となりました。これは主に、投資有価証券が784百万円増加した一方で、顧客関連資産が197百万円、のれんが81百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ797百万円増加し6,857百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ836百万円増加し5,246百万円となりました。これは主に、買掛金が735百万円増加した一方で、未払法人税等が171百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ39百万円減少し1,610百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が29百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ447百万円増加し19,925百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2,521百万円を計上した一方で、剰余金の配当により1,996百万円が減少したことに加えて、為替換算調整勘定が189百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月14日に公表いたしました通期の連結業績予想値から変更はありません。なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

今後、業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,079	13,160
受取手形及び売掛金	4,473	5,838
立替金	1,568	1,884
その他	269	319
貸倒引当金	△38	△48
流動資産合計	20,353	21,154
固定資産		
有形固定資産	677	554
無形固定資産		
のれん	435	353
顧客関連資産	1,052	855
その他	129	159
無形固定資産合計	1,617	1,368
投資その他の資産		
投資有価証券	2,492	3,277
その他	427	457
貸倒引当金	△30	△29
投資その他の資産合計	2,889	3,705
固定資産合計	5,184	5,627
資産合計	25,538	26,782
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,590	3,325
未払法人税等	633	461
賞与引当金	434	350
役員賞与引当金	49	32
その他	701	1,076
流動負債合計	4,409	5,246
固定負債		
繰延税金負債	255	226
退職給付に係る負債	712	749
役員退職慰労引当金	205	231
資産除去債務	247	247
その他	228	155
固定負債合計	1,650	1,610
負債合計	6,059	6,857

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500	500
資本剰余金	5,045	5,045
利益剰余金	12,366	12,890
自己株式	△392	△392
株主資本合計	17,519	18,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	79
為替換算調整勘定	1,459	1,269
退職給付に係る調整累計額	42	37
その他の包括利益累計額合計	1,529	1,387
非支配株主持分	429	494
純資産合計	19,478	19,925
負債純資産合計	25,538	26,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
営業収益		
輸送事業収入	41,827	44,057
その他事業収入	91	92
営業収益合計	41,918	44,150
営業原価		
輸送事業仕入	34,003	36,257
その他事業仕入	48	52
営業原価合計	34,052	36,310
売上総利益	7,866	7,839
販売費及び一般管理費	4,512	4,550
営業利益	3,354	3,289
営業外収益		
受取利息	35	78
受取配当金	4	5
持分法による投資利益	167	172
為替差益	51	147
その他	19	37
営業外収益合計	278	441
営業外費用		
支払利息	13	9
その他	0	0
営業外費用合計	13	10
経常利益	3,619	3,720
特別利益		
固定資産売却益	1	-
関係会社清算益	84	-
特別利益合計	86	-
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	9	0
特別損失合計	9	0
税金等調整前四半期純利益	3,696	3,719
法人税、住民税及び事業税	1,112	1,122
法人税等調整額	9	△44
法人税等合計	1,122	1,078
四半期純利益	2,574	2,641
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	120
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,487	2,521

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	2,574	2,641
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	51
為替換算調整勘定	15	△195
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△26
退職給付に係る調整額	1	△4
その他の包括利益合計	26	△174
四半期包括利益	2,600	2,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,510	2,378
非支配株主に係る四半期包括利益	90	88

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」

(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	426百万円	388百万円
のれん償却額	81百万円	81百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	計				
営業収益							
顧客との契約から 生じる収益	35,618	5,053	40,671	1,155	41,827	—	41,827
その他の収益	91	—	91	—	91	—	91
(1) 外部顧客に対する 営業収益	35,710	5,053	40,763	1,155	41,918	—	41,918
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	116	3,696	3,813	437	4,250	△4,250	—
計	35,826	8,750	44,576	1,592	46,169	△4,250	41,918
セグメント利益	2,628	558	3,187	167	3,354	—	3,354

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。なお、香港の現地法人は清算に伴い、当第3四半期連結会計期間において、連結の範囲から除外しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	計				
営業収益							
顧客との契約から 生じる収益	37,577	5,168	42,745	1,313	44,058	—	44,058
その他の収益	91	—	91	—	91	—	91
(1) 外部顧客に対する 営業収益	37,668	5,168	42,836	1,313	44,150	—	44,150
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	129	3,475	3,604	371	3,975	△3,975	—
計	37,797	8,643	46,441	1,684	48,125	△3,975	44,150
セグメント利益	2,642	489	3,131	158	3,289	—	3,289

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。